

4. 用途別の実態

(1) 市民会館

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、市民文化の向上及び住民福祉の増進を図る施設として、市民会館を設置しています。
市民会館は、公民館との複合施設となっています。

図表 施設一覧（平成 25 年度）

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる建 物)	複合・併設施設	備考
					公民館	
1 市民会館	小牧市小牧二丁目107番地	5,461.4	昭和46	鉄筋コンクリート	●	

② 事業内容

市民会館では、サークル団体等への施設の貸出しのほか、各種イベント等を行っています。

<事業内容>

- ・施設の貸出し
- ・各種イベントの開催

③ 開館時間等

開館時間	休館日	開館日数
午前 9 時から午後 9 時 30 分	毎週月曜日 年末年始（12 月 29 日から 1 月 3 日）	308 日

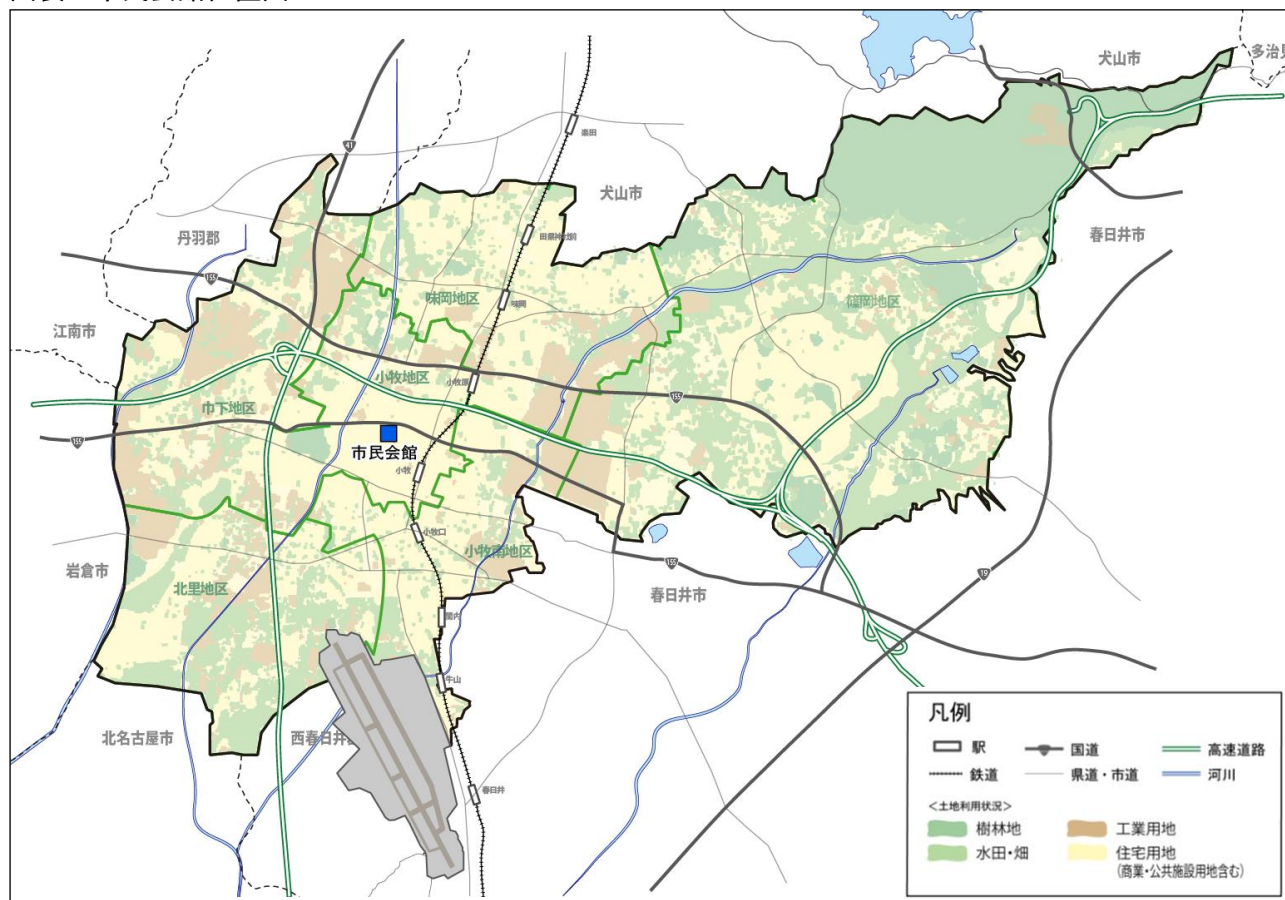
④ 利用方法

利用しようとする日の属する月の 1 年前の月の初日から 10 日前までの間に小牧市市民会館利用許可申請書を指定管理者に提出することになっています。

使用料は基本的に有料です。ただし、小牧市市民会館使用料減免要綱に規定する要件に該当する場合は使用料の減免が適用されます。

⑤ 配置状況

図表 市民会館位置図

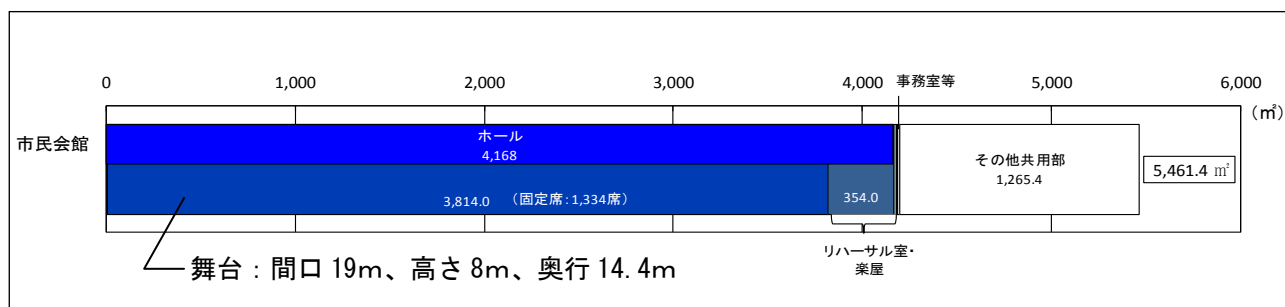


⑥ スペース構成

市民会館は延床面積 5,461 m²であり、そのうちホール面積が 4,168 m² (固定席 1,334 席、舞台、リハーサル室・楽屋等) となっています。

その他に、事務室等を保有しています。

図表 スペース構成 (平成 24 年度)



2) 実態把握

① 建物状況

■ 市民会館の建物総合評価結果

平成 25 年度の市民会館の建物状況について評価を行いました。

No.	施設名	基本情報		①耐震化	②老朽化			③バリアフリー対応						④環境対応	⑤維持管理(H24年度)							
		建築年度	延床面積（㎡）	耐震改修	築年数	直近の大規模改修	規模改修後経過年数または直近の大規模改修年数	エレベーター※1	車いす用トイレ	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	トイレの洋式化	太陽光発電の導入	自然エネルギー・屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	維持管理費(千円)		床面積当たり(円/㎡)		
																		光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費	光熱水費	建物管理委託費
1	市民会館	昭和46	5,461	—	42	平成21	4	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	指定管理委託料に含まれるため評価対象外とする				

①、③、④ の記載例	実施済み：○	※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等の設置
	未実施：×	※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備
	不要：—	※①の「不要：—」には、耐震診断の結果耐震化が不要な施設と新耐震基準施設のため不要な施設が含まれる。

市民会館は、特に問題がない施設です。(パターンE)

評価	パターンE	問題なし
	・特に問題がない施設 (大規模改修実施済み施設も含む)	
該当施設	該当施設	建築年度
	市民会館	昭和46
コメント	< 1 施設 >	
	—	

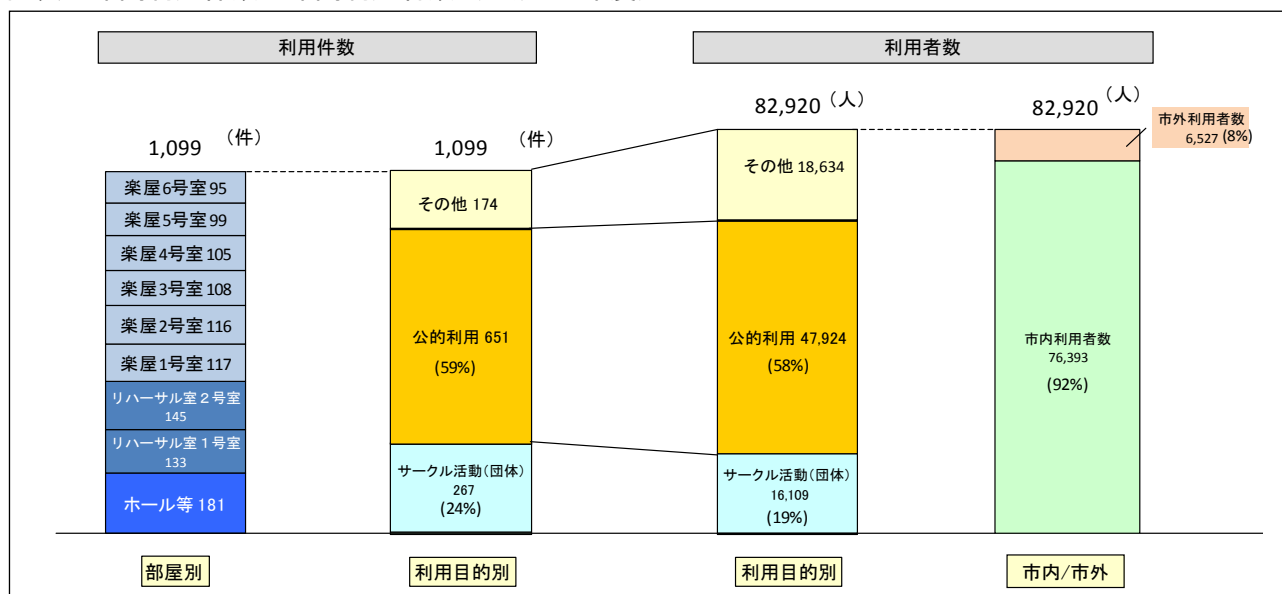
② 利用状況

■ 年間利用件数・年間利用者数

年間利用件数は1,099件、利用者数は8万2,920人となっています。

利用者数の利用目的別の内訳をみると、市や県等の公的利用が4万7,924人（58%）と過半を占めています。また、市内利用者が7万6,393人（92%）と大半を占めていますが、市外利用者も6,527人（8%）となっています。

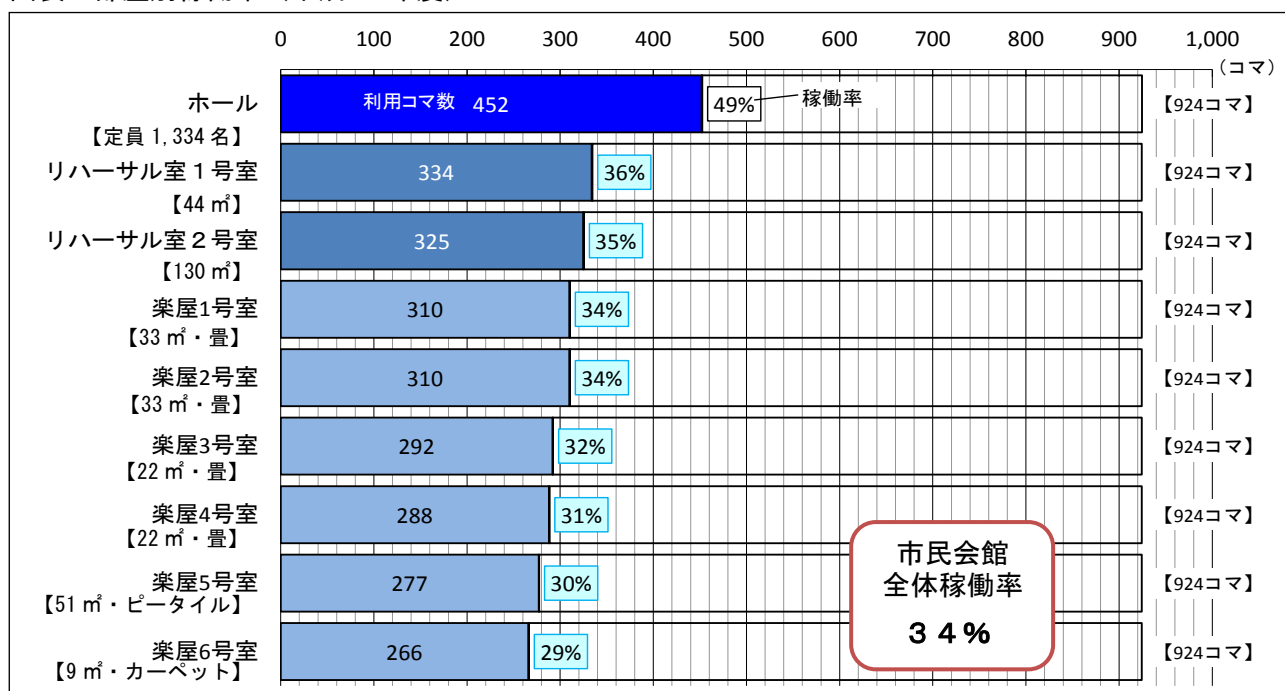
図表 年間利用件数・年間利用者数（平成24年度）



■ 稼働率

市民会館の全体稼働率は約34%です。部屋別では、ホールが49%と最も高く、次いでリハーサル室が35%から36%、楽屋が29%から34%となっています。

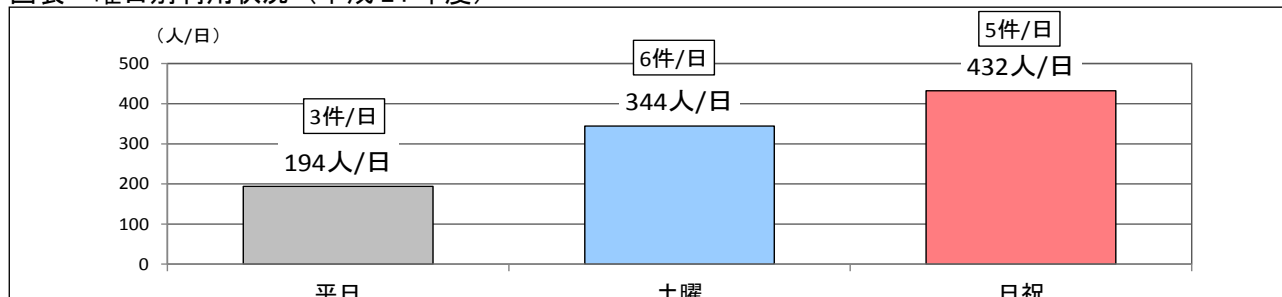
図表 部屋別稼働率（平成24年度）



■ 曜日別利用状況

曜日別の利用状況を見ると、平日が194人/日、土曜日が344人/日、日曜日・祝日が432人/日となっており、平日に比べ、週末の利用が1.8倍～2.2倍多いことが分かります。

図表 曜日別利用状況（平成24年度）



■ 利用推移

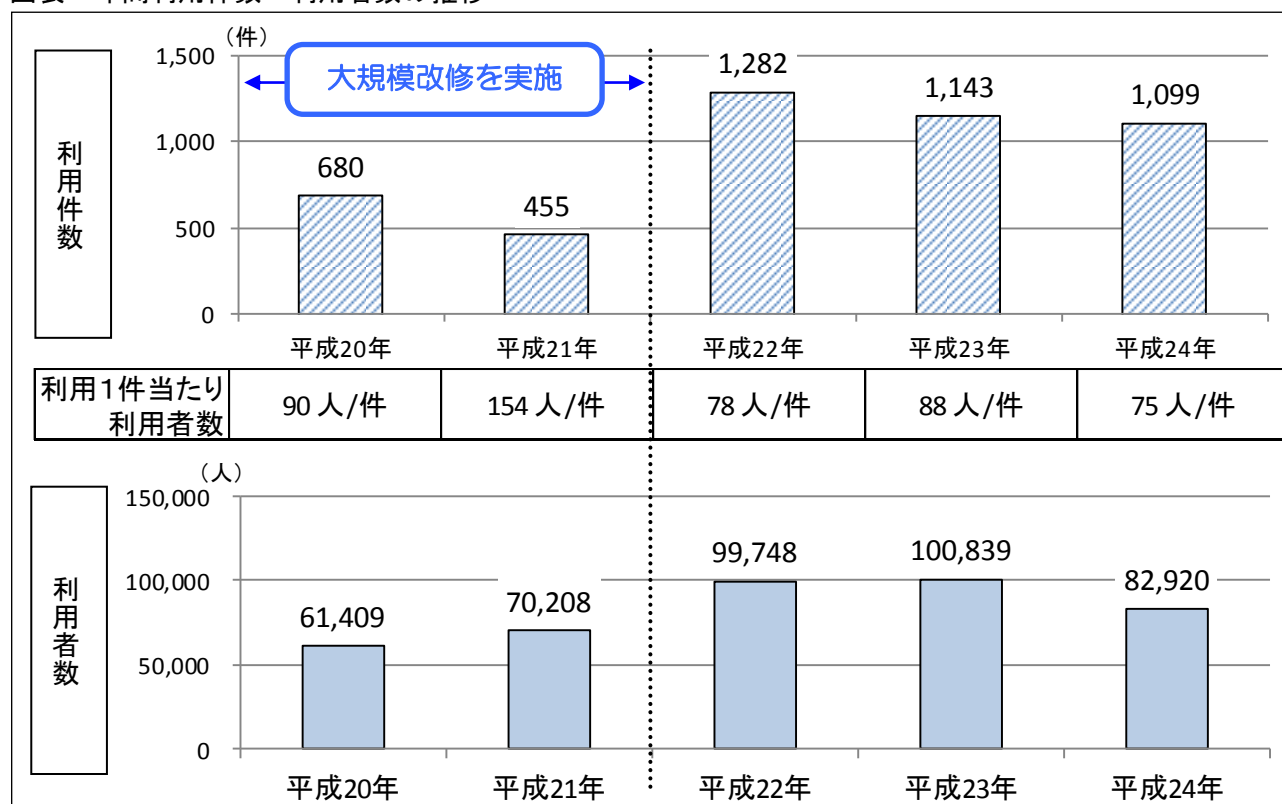
平成20年度から平成21年度までは、大規模改修の実施により利用が制限され、利用件数および利用者数は、他の年度と比べ少なくなっています。

平成22年度以降の推移を見ると、利用件数は、平成22年度は1,282件でしたが、平成24年度は1,099件と減少しています。

利用者数は、平成22年度および平成23年度は約10万人でしたが、平成24年度は約8万人と減少しています。

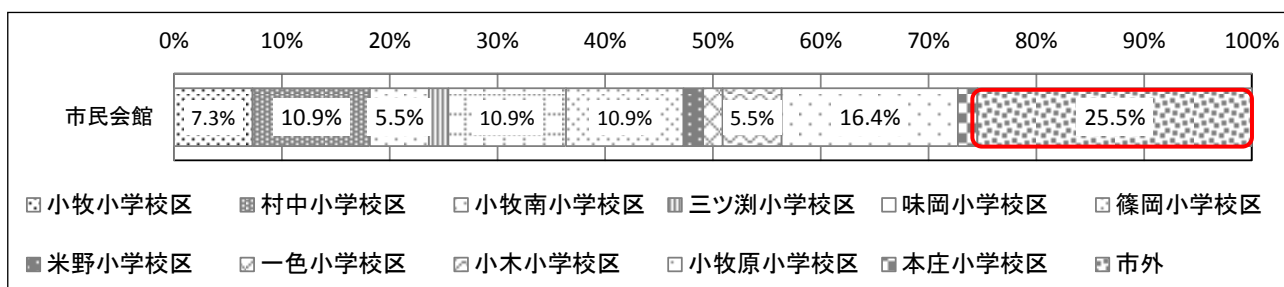
利用1件当たりの利用者数は、平成23年度は平均88人/件でしたが、平成24年度は平均75人/件と減少しています。

図表 年間利用件数・利用者数の推移

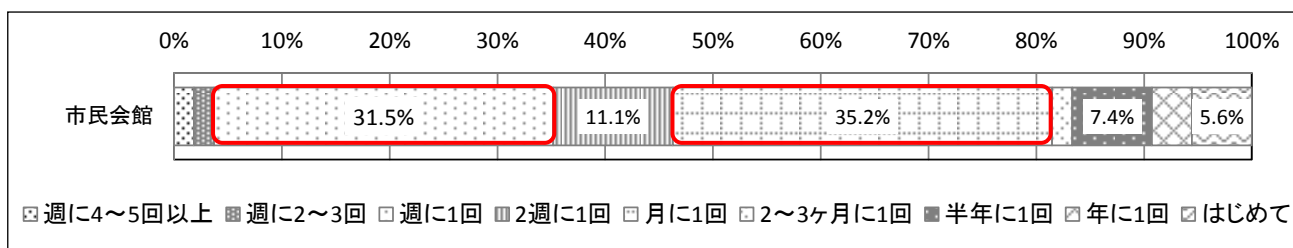


■ 利用者アンケート

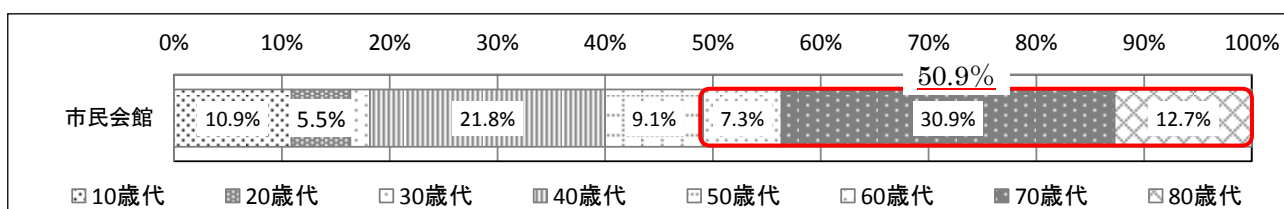
利用者の居住地をみると、幅広く利用があり、市外利用者の割合も4分の1を占めています。



利用頻度をみると、週1回、及び、月1回利用がそれぞれ3分の1ずつを占めており、定期的な利用がされていることが分かります。



利用者年代をみると、60歳以上の方の利用が50.9%と過半を占めていますが、10歳代の利用が10.9%、40歳代が21.8%と年齢層も幅広く利用されています。



③ 運営状況

市民会館は、指定管理者制度で運営しています。

指定管理者職員は、約 6 人が従事しています。

図表 運営人員（平成 24 年度）

(人)

	市民会館
運営形態	指定管理
施設維持管理	4.50
施設利用に関する受付・案内	1.25
合計	5.75

■ 運営体制

運営体制をみると、一般職員及び臨時職員、嘱託職員が、公民館運営業務と兼務で運営にあたっています。

一般職員と臨時職員は、不規則ローテーションとなっています。

土・日曜日・祝日の運営は、行事により運営体制が変わります。

図表 運営体制（平成 24 年度）

		8:30	16:45	22:00
市民会館	平日(火～金)	一般職員(指定管理者職員) 7人 ※1,※2 臨時職員(指定管理者職員) 4人 ※1,※2 嘱託職員(指定管理者職員) 0.25人 ※1		
	土・日曜日・祝日			
	運営体制 12人			

※ 1 公民館と兼ねる

※ 2 不規則ローテーション勤務（行事に合わせて変更あり）

④ コスト状況

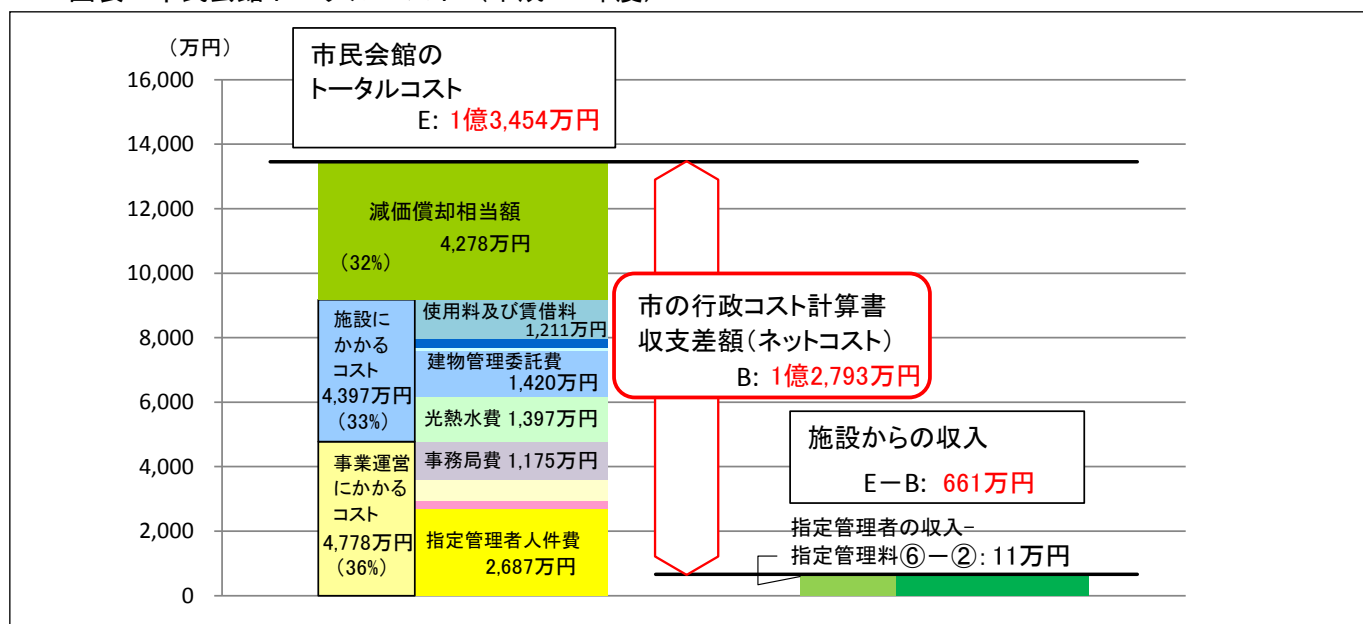
市のコストと指定管理者のコストをあわせて整理した市民会館の年間トータルコストは、1 億 3,454 万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト（修繕料、光熱水費等）は 4,397 万円（33%）、事業運営にかかるコスト（人件費、その他委託費等）は 4,778 万円（36%）、減価償却相当額は 4,278 万円です。当該施設から年間 661 万円の収入があります。

図表 市民会館 行政コスト計算書（平成 24 年度）

		(円)	
市の行政コスト計算書		市民会館	
市の行政コスト計算書	I. 現金収支を伴うもの【コストの部】	市民会館	
	施設にかかるコスト	改修費	2,814,000
		光熱水費	0
		建物管理委託費	0
		使用料及び賃借料	10,824,960
		施設にかかるコスト計	13,638,960
	事業運営にかかるコスト	一般職員人件費	0
		負担金補助及び交付金	0
		委託費	2,692,956
		その他物件費	5,121,660
		事業運営にかかるコスト計	7,814,616
		指定管理料 ②	70,194,867
		現金収支を伴うコスト 計 ①	91,648,443
	【収入の部】	使用料収入	6,505,540
		諸収入	0
		現金収支を伴う収入 計 ④	6,505,540
II. 現金収支を伴わないもの【コストの部】		市民会館	
		減価償却相当額 ③	42,784,820
III. 総括		市民会館	
		コストの部合計（トータルコスト）（①+③）	134,433,263 A
		収支差額（ネットコスト）（A-④）	127,927,723 B
		(円)	
指定管理者のコスト計算書	I. 現金収支を伴うもの【コストの部】	市民会館	
	施設にかかるコスト	修繕料	867,266
		光熱水費	13,974,135
		建物管理委託費	14,199,734
		使用料及び賃借料	1,289,028
		施設にかかるコスト計	30,330,163
	事業運営にかかるコスト	指定管理者人件費	26,871,466
		委託費	0
		その他物件費	1,345,555
		事務局費	11,752,918
		事業運営にかかるコスト計	39,969,939
		現金収支を伴うコスト 計 ⑤	70,300,102
	【収入の部】	指定管理料 ②	70,194,867
		諸収入等	105,235
		現金収支を伴う収入 計 ⑥	70,300,102
III. 総括		市民会館	
		コストの部合計（トータルコスト）（⑤）	70,300,102 C
		指定管理者収支（⑥-⑤）	0 D
		市と指定管理者の純計後トータルコスト（E=A+C+D-②）	134,538,498 E

図表 市民会館トータルコスト（平成 24 年度）



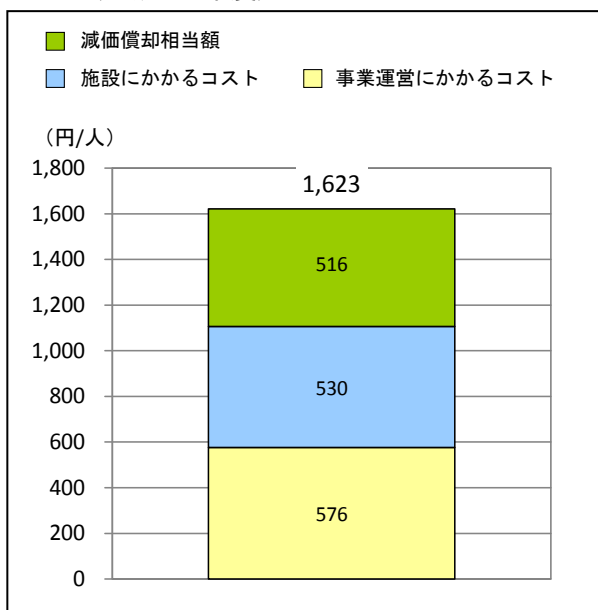
3) 評価・分析

■ 利用者数 1 人あたりにかかるコスト／利用件数 1 件あたりにかかるコスト

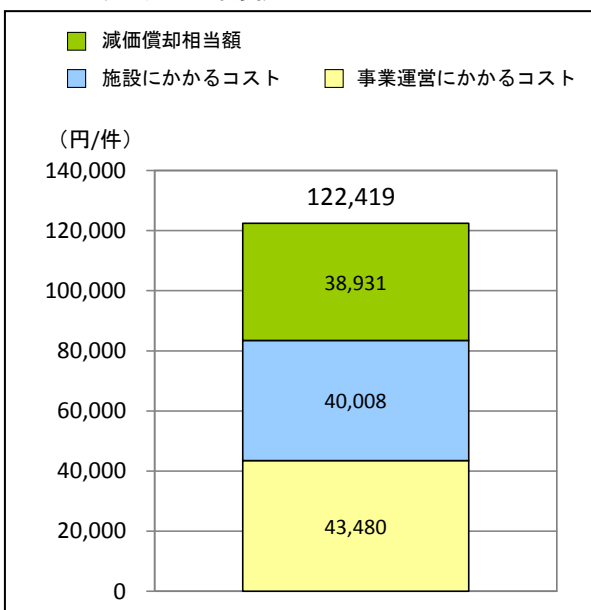
年間利用者数とトータルコストから利用者 1 人あたりにかかるコストを算出すると、1,623 円となっています。

年間利用件数とトータルコストから利用 1 件あたりにかかるコストを算出すると、12 万 2,419 円となっています。

図表 利用者 1 人あたりにかかるコスト
(平成 24 年度)



図表 利用 1 件あたりにかかるコスト
(平成 24 年度)



4) 今後の検討の視点

■ 施設に関する視点

- 平成 20 年度、21 年度のホールや外壁等の大規模改修等によって施設周辺が整備され、市民の憩いの場となっています。しかし、建物は築 42 年を経過しており、今後は公民館を含めて施設整備のあり方について検討していく必要があります。

■ 利用に関する視点

- ホールの稼働率は 49% となっていますが、さらに稼働率を高めるため、空き状況の提供や活用方法の提案など、利用を高めるための工夫が必要です。
- 市民会館は、リハーサル室を 2 部屋、楽屋を 6 部屋保有していますが、いずれも稼働率は 29%～36% と低くなっています。利用ニーズに合った諸室機能等を検証し、有効活用を図る必要があります。

■ コストに関する視点

- 市民会館の維持管理・運営にかかるコストのうち、大半は指定管理委託料となっています。

施設写真

